



会報



全員参加のロータリー活動を!

2014. 10. 22 第1124回例会 No. 25-15 2014. 10. 29 発行

◎司会 SAA・親睦委員会 荒瀧 義機

◎点鐘 会長 小田 泰機

◎ロータリーソング「日も風も星も」
ソングリーダー 菊池 敏

「四つのテスト」の唱和
SAA・親睦委員会 大石 哲司

◎お客様紹介 会長 小田 泰機
卓話講師 元JAL機長 淡野 徹様

◎会務報告 会長 小田 泰機

- 10月15日定例理事会報告
1. ガバナー公式訪問及び障がい者テニススクールの収支結果を幹事から報告し、承認。
 2. 地区要請の広島豪雨災害義捐金合計 32,500 円を送金。
 3. クリスマス例会、寿例会について
 - ①SAA 委員会より次回理事会までに予算案を提出することとした。
 - ②寿例会を今年も合同で行うか多摩 RC に確認する。
 4. 依頼案件
 - ①TAMA CINEMA FORUM の後援依頼を承認。
 - ②多摩市障がい者美術作品展への協賛金をこれまで通り3口とすることを承認。
 5. 田村会員より出席要請の一般社団法人多摩マイライフ包括支援協議会主催の地域包括ケア関連団体懇話会に宮本エレクトと田崎幹事が出席することを承認。今後の継続は報告を待って検討する。
 6. ロタフェロー委員会より要請のロタフェロー西村祐亮氏への支援について。
(内容は理事会宛の要請書参照) 趣旨には賛同するが、具体的支援内容の提出を同委員会に要請しその上で支援するか否か決める。
 7. ロータリーデーの選定について
RI 会長提唱のロータリーデーの設定について、ロタキッドの定期演奏会の行われる12月23日とする。

◎幹事報告 幹事 田崎 博実

*回覧物として

1. 12/22ポリオ撲滅チャリティーコンサート協力をお願い。
2. 多摩市まち美化キャンペーンの再回覧。
3. 障がい者テニススクール参加の中学生の感想文。

*地区より米山奨学生の選考試験面接官の公募がありました。

【委員会報告】

◎出席報告 出席奨励委員会 中谷 綾子

会員総数	35名
出席義務者数	27名
出席義務免除者	8名
出席者数 出席義務者	22名
出席義務免除者(事前MU1名)	7名
計	29名

出席率 29/34 = 85.29%
第1122回例会(10/2)訂正出席率88.24%

◎ニコニコBOX SAA・親睦委員会 三田みよ子

- 小田 泰機 乞田川でカワセミを見ました。
- 田崎 博実 僕も大空を飛んでみたい。
- 足立潤三郎 第1回ワイン同好会大変楽しい研究会でした。永く続くといいね。
- 荒瀧 義機 淡野 徹様ようこそいらっしゃいました。卓話楽しみです。宜しく願い致します。
- 遠藤 二郎 お客様ようこそ。
- 伊澤ケイ子 菊池さんごちそうさま。楽しかったです。
- 菊池 敏 お客様ようこそ!
宮本さん先週はお世話になりました。
- 小泉 博 お客様ようこそ 卓話楽しみです。昨日のワイン同好会 参加者の方々ありがとうございました。おかげで頭が重いです。
- 峯岸 忠 お客様ようこそ。卓話よろしく願い致します。会員の皆様気温が安定しません 風邪などひかない様に。

峰岸 千尋 雨が続くそうです 今日はお客さまの卓話が楽しみです。

三田みよ子 昨日はワイン同好会有難うございました。楽しかったです。

宮本 誠 今日卓話おもしろそうですね。

宮村 宏 淡野様 卓話楽しみです。

森本 由美 淡野様、本日は卓話を楽しみにしております。

村上 久 どうぞよろしくお願ひします。

中谷 綾子 小田会長 お世話様でした。

斎藤 誠壽 ありがとうございます。

関岡 俊二 秋らしくなりました。

柴崎 信洋 風邪をひきませんように。

淡野様 お話をたのしみにしております。

淡野様 卓話楽しみにしています。

昨日はワイン同好会楽しく飲めました。

10月2日障がい者テニススクール打ち上げの残金をニコニコにして頂きました。

本日の合計¥34,437 (累計¥359,501)

◎その他委員会

★障がい者テニススクール 実行委員長 峯岸 忠

落合中学に挨拶に伺い、テニススクールに参加頂いた子供達の感想文(108名分)をお預かりして参りましたので回覧致します。

★障がい者テニス打ち上げの会計報告

幹事 田崎 博実

参加費合計105,000円、支出93,563円、残金11,437円はニコニコ拠出金に寄付する。

★ワイン同好会 座長 柴崎 信洋

昨日ワイン同好会が16名で盛大に行われ、ただワインを飲むだけではなくいろいろ教えて頂いた。第二回はボジョレーが出た頃にした。またご案内をします。



◎卓話者紹介 プログラム副委員長 森本 由美

50年前の10月10日、東京オリンピック開会式で大空にアクロバット飛行で五輪のマークを描いた元航空自衛隊ブルーインパルス、後にJALのパイロットになられた、淡野 徹様の生のお話です。

◎卓話 淡野 徹 様

『1964年東京
オリンピック
大空に五輪を描く』



— 卓話に先立ちNHKの
オリンピック開会式収録
番組を映写 —

今年東京オリンピックから丁度50年、当時日本は経済成長の真只中でスモッグがひどかった。高度一万フィート(3,300m)でもボヤーンとしていました。戦闘機は大きさ10m程でそれが2000m離れて、正確にポジションを決めないと五輪にならない。浜松基地の上空で練習していましたがうまく行かず、遠州灘の沖へ出て練習しました。戦闘機が45度で降りて来る(35度後退角という)と翼幅11mの機体がフワッとスモッグの中へ見えなくなるのです。開会式前日東京は大雨で、どうせ明日は無いと思っていました。ところが翌朝は快晴だったのです。

戦後どのようにパイロットの養成がなされたかという、1945年無条件降伏でGHQから重工業の禁止をされました。1952年のサンフランシスコ講和条約まで続きます。1950年に朝鮮戦争が勃発し形勢が変わりました。警察予備隊が保安隊となり、自衛隊となりました。空自は遅れて1954年、昭和29年に発足しました。空自は戦闘機のパイロット集団であり、すぐには出来ません。また英語が分からないといけません。戦争中のパイロットを集めていましたが、英語がわかるのは海軍兵学校卒くらいで大して集まらない。それでパイロット養成の募集があり私はこれに応募し、6年で航空自衛隊幹部候補生学校に入り戦闘機のパイロットになりました。浜松の戦闘機操縦教官の時に命令によりブルーインパルスに所属することになりました。

当時の空自の幕僚長源田實氏の発案でブルーインパルスが東京オリンピックで祝賀飛行をやれと言うことになりました。これはアクロバット飛行ではなく、フライバイ(上空を煙を出しながら通過する)と思っていましたが、後で五輪を描くということになりました。五輪を描くのに垂直方向には出来ない。都市上空での曲技飛行は禁止されているので水平方向に描くしかない。天皇・皇后両陛下の前です。特に皇后陛下は前を向いたまま身じろぎをなさらない。おまけに一定の仰角までしか顔をお上げにならない。ですから左右160度視野の中、仰角?度という極めて狭いキャンバスに描くことになります。当日は快晴となりましたが、開会式の進行は予定通りには進まず、秒単位の発進計画が役に立たない。編隊長の機転によりNHKの放送を受信して、最終聖火ランナーの入場を合図に東京上空に向かったのです。



!! 成功 !!

褒美は、何か、ちょこっと、ご馳走してもらったような気がします。

◎お例と点鐘

会長 小田 泰機

(今週の担当 吉沢 洋景)